

日本風景街道だより

2011年 冬 Vol. 14

全国で120の風景街道が登録

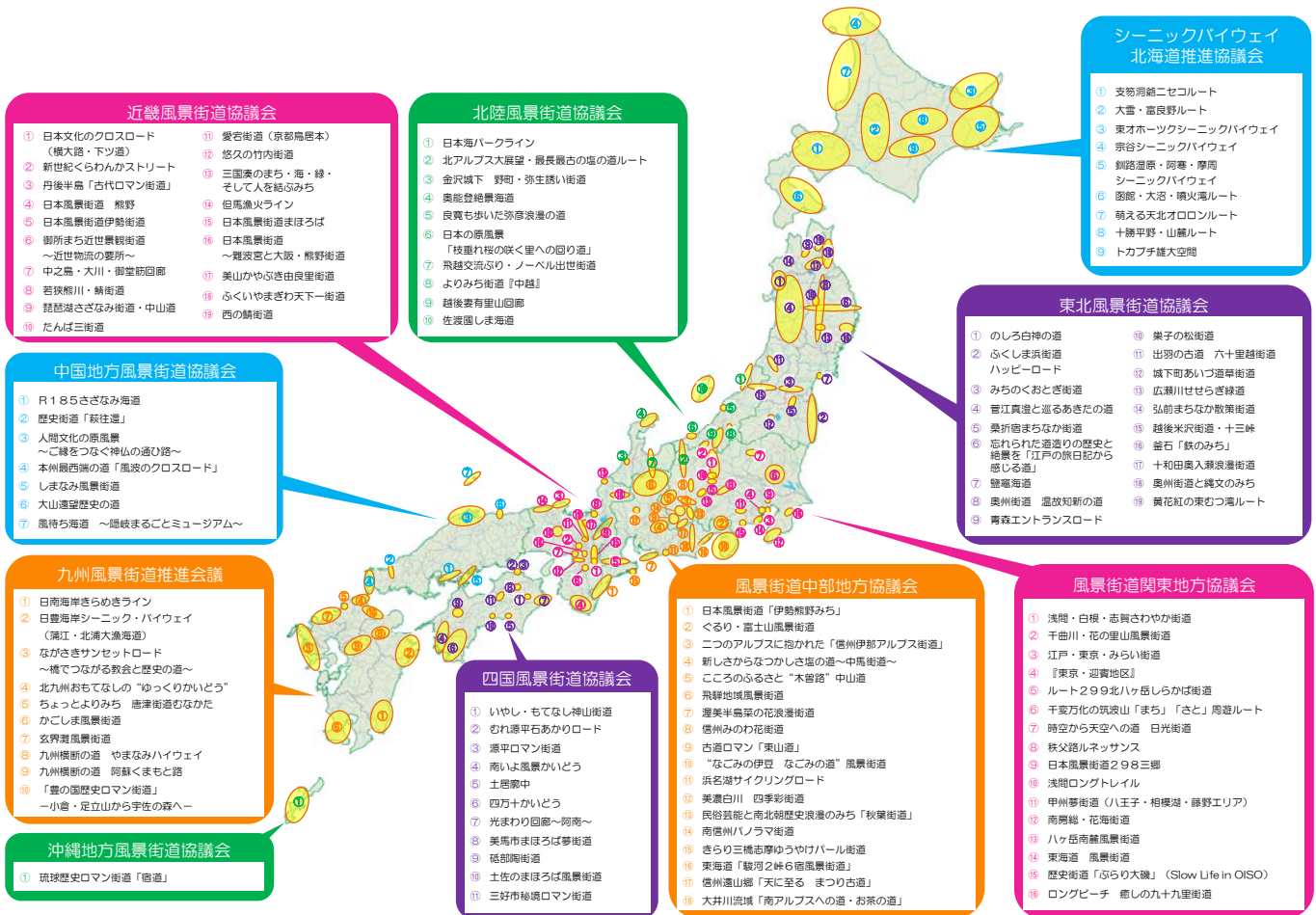
平成22年11月に近畿地方で1ルートが新規登録されました。

これにより全国で120の風景街道が登録されました(平成22年11月末現在)。

近畿地方の新規登録1ルートは、「西の鯖街道」です。

なお、登録された各風景街道の概要は、日本風景街道ホームページ

(<http://www.mlit.go.jp/road/sisaku/fukeikaidou/index.html>)、もしくは各風景街道地方協議会ホームページで閲覧することができます。



シリーズ: 各地域の風景街道の取り組み

心癒せる道 あいなん遍路みち (南いよ風景かいどう)

みちしるべ

その道は 四国八十八か所を歩いて巡礼するみち 土佐の国から伊豫の国へと越える「松尾峠」から始まる。茶屋場跡の横「松尾大師」の脇で一休み、汗をぬぐう気持ち良い風、鳥のさえずりや木々のざわめき、静かな時が流れてゆく。息をととのえ、緩やかな坂を下り始める。それまでとは少し様相が違って見える広々と整備され管理の行き届いた道が里へと続く。分かり良い道標。見えて来たのは道端の綺麗なトイレ。そう愛南町では4年前から各方面の協力を得て、遍路みち沿いにトイレを整備している。古い昔の街道、今では国道脇に作られた休憩所である。日々の手入れは地域の方達のボランティアで、毎日綺麗にされている。歩いて廻る人々には有り難い施設だ。舗装された道を進む。街すじをぬけ国道を渡り広々とした田畑の脇を行き杉囲いの道を下り始める。道路上に書かれた黄色い道しるべを頼りに県道を横切る。木のトンネルの入り口「赤坂街道」そこには“癒しの里道 旧街道 へんろみち”と書かれた道標、トイレ・休憩所まで1.4kmとするされ、同じ内容の英語の看板もある。杉の小枝を踏みながら下ってゆく。小川のせせらぎを聞きながらトンネルをぬけ芝生の道を歩く。舗装道路で疲れた脚を癒してくれる素敵な場所。分かれ道になると黄色の矢印が、そして先程と同じ道標。クヌギの落ち葉を踏みしめながらゆっくりと登り始める。もう一度県道を横切る、休憩所まで450mの文字が歩く人にはその数字は有り難い。



英語でも表記している案内板

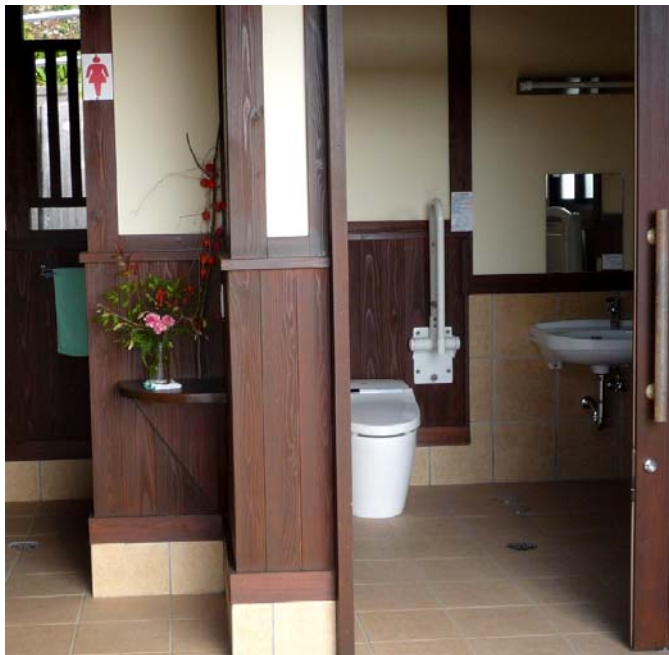
小さな集落の中を歩く。民家の塀にあと130mの看板を歩いてゆくとそれは神社の脇にあった。三年程前に完成した「^{うわおおどろ}上大道休憩所」。静かな山里の風景。心地よい風とお日様の光、綺麗な屋根付きのベンチ。テーブルの上に飾られた花。誰もが足を止めてしまう、そんな場所だ。腰をおろすと目についた3冊のノート“土佐・南伊予へんろみち”と名づけてある、ページをめくるとたくさんの方達の書き込みが「風や景色 飾られた花が心癒してくれる ありがとう」「へんろ道沿いにある休憩所の中では四国一だ」とか。そんなお礼の気持ちがつつられている。その下には赤いペンで一人一人に返事も書き込まれている。

書いた本人には次回立ち寄るまで読めない返事なのだ。ここもやはり地元のボランティアで管理されている。毎朝の掃除でピカピカに光る蛇口や便器、テーブルや棚に飾られた花々。ここのすべてがいきいきと見えるのかもしれない。そして、タイミングが良ければ夕食の差し入れや朝のコーヒーと。

ここで一夜を過ごす人も多い。夜空に輝く満天の星を見上げながら、物思いにふけ疲れた体を休める。立ち寄った人達が時間を惜しむことなく過ごせる、そんな素敵な場所だ。心癒され40番まで5.4kmのプレートを見て札所へと歩き始める。山里を下り川沿いの道歩く豊田茶堂の脇には今年の夏出来たトイレも、すべてがお接待なのだ。



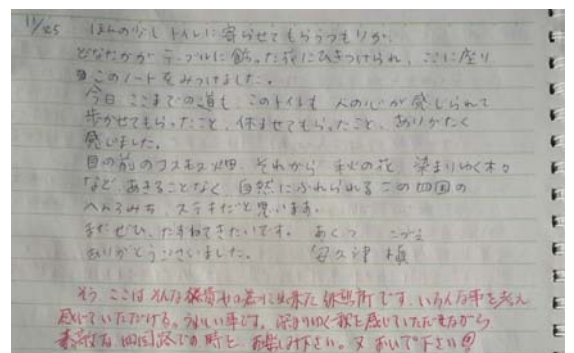
上大道休憩所



毎日管理されているトイレと飾られている花



3冊のノート「土佐・南伊予へんろみち」



書き込まれたノートの一部

私達の活動

トレッキング・ザ・空海あいなん実行委員会は、合併前の旧五ヶ町村35の団体と共に地域資源（遍路道は歴史的・文化的に貴重な資源）を活用し地域活性化の一環とし、お接待の心を基本とするボランティア意識を高めるねらいがある。

ウォーキングイベントもその活動の一環として毎年各方面からたくさんの人々に参加頂いている。イベント中、地域の方達のお接待、参加者は道中のゴミ拾いと色々な役割がある。

近隣の風景街道会議への参加交流、地域住民と共に旧街道の維持や整備、道標の設置や施設の清掃管理、トイレ等新設の要望ほか住民が主体となる活動としている。いまだ荒地で通れない道の復元。大変な労力がある。しかし歩いて廻る方達に旧街道の素晴らしさを知って頂けるのであればと、少しずつではあるが、みんなで汗を流す。その活動を評価して頂き、平成20年度国土交通省の“手づくり故郷賞”（一般部門）を受賞できた。

これからの課題

- ・年々増えている歩き遍路をされる方々の為にも今まだ通れない素晴らしい遍路みちの復元整備
- ・繋がる近隣の地域との連携
- ・地域住民の環境美化に対する意識の向上
- ・言葉のお接待の出来る町づくり
- ・四国八十八ヶ所の札所とそれをつなぐ遍路道を世界遺産へとする為の活動

おわりに

愛南町にはもう一か所素晴らしい「柏坂」と言う遍路みちがある。トレッキング・ザ・空海発祥の地 旧内海村から宇和島市へとぬける山越えのみち。ある新聞の「伊予弁」と言うコーナーで執筆した文章をご紹介します。ペンを置きます。

「かしわ坂」

石畳の道を上り始める。道中にある野口雨情の七基の句碑を味わいながら、急な坂道に息を弾ませる。この辺で一休み。休憩所の奥にある湧水でのどを潤す。その昔弘法大師もここで休み、水が欲しくて柳の杖を立てた。そうして出始めたといわれる「柳水」である。脇にあるお堂に一礼し、息を整え歩き始める。あともうすこしだ。涼しげな木々の中、緩やかな坂を進む。目の前の景色が開け、眼下には青く輝く海。つわな奥展望台だ。突き出る由良半島。かなたにかすむ九州の山々。行き交う貨物船。その雄大な景観に時の経つのも忘れ、歩いて来た喜びにもひたる。この道を歩く人たちにしか味わえない魅力だ。春には若草の香りに包まれ、夏は木立がお日さまを遮る。秋には木々の色付きに感動し、冬には北風から優しく守られる。そんな気持ちを癒してくれる「へんろみち」先人たちが通った山道に手をかけて下さる方々に感謝しつつ、わたしは緩い坂を里へと下ってゆく。

[執筆者]

トレッキング・ザ・空海あいなん実行委員会 徳岡朗

北九州おもてなしの“ゆっくりかいどう”（九州風景街道推進会議）

1. ルートの概要

福岡県の北東部、九州の玄関口に位置する北九州市は、日本海に広がる紺碧の海や緑の深い山々に囲まれた自然豊かな地域であり、美しい風景や歴史を偲ばせる史跡が数多く残っています。

なかでも、約40kmの風景街道ルート「北九州おもてなしの“ゆっくりかいどう”」の沿線には、大正ロマン漂う門司港レトロ地区や江戸時代の面影を残す長崎街道があり、その美しい風景とともに、歴史や文化を育んできた地域の個性や魅力も満喫できます。



2. 長崎街道とは

江戸時代の最も重要な交通路は、江戸から本州主要地へ伸びる東海道をはじめとした五街道ですが、それらに次ぐ幹線道路として「脇街道」がありました。長崎街道はそのうちの一つで、現在の北九州市から長崎市を結ぶ五十七里（約228キロメートル）の道筋には、25もの宿場が置かれ、多くの人々が行きかいました。

当時の鎖国政策の中、唯一の海外交易港である長崎へと繋がるこの街道は、世界の物産や文化・情報を、大坂、京都そして江戸へと運ぶ文明の道として、脇街道の中でも特に重要視されたと言われています。

この長崎街道に愛着を持つ人は多く、福岡県から長崎県にいたる沿線の各地で、街道にちなんだイベントやお祭りが催されています。

3. 推進組織

「北九州おもてなしの“ゆっくりかいどう”」を対象に活動するパートナーシップとして、北九州風景街道（長崎街道）推進協議会を設立し活動しています。本協議会は、長崎街道をテーマに活動する団体を中心に、平成22年12月現在、37の団体・機関で構成されています。

全会員が集まる総会と、役員からなる幹事会にて活動方針などを話し合い、後ほど紹介するような取り組みを行なっています。また、イベントなどの実施にあつたては、イベント広報企画グループという作業部会が内容を企画・検討します。

4. 活動紹介

本協議会では、会員団体の個別活動のほかに、まちのにぎわいづくりイベントの開催や、ルートの魅力のPR、会員団体同士の交流促進・連携強化などの活動に取り組んでいます。

平成22年度の活動の中からいくつかご紹介させていただきます。

1) 街道ウォーキングと風景街道パネル展

ルート名のとおり、ゆっくりと街道を歩いてもらおうと、今年度、「長崎街道ウォーキング」と題したイベントを民間企業と協働して実施いたしました。

また、ウォーキングコース上にて同日開催された「まつり起業祭」というイベントの中で「北九州風景街道パネル展」を行い、ウォーキング参加者やまつりの来訪者へ風景街道の活動と魅力をPRいたしました。

どちらのイベントも多数の方々のご参加をいただきました。普段はそれほど歩行者の多くない道路に、当日はマップを手にしたウォーキング参加者があふれ、大変活気づいていました。

ルート沿線には、本当にたくさん見所がありますので、今後もこのようなイベントを通じて、多くの人に歩いてもらい、その魅力を知っていただきたいと思います。



街道ウォーキングの様子



風景街道パネル展の様子

2) 北九州風景街道まつり IN 木屋瀬宿と第三回総会

本協議会では、年に一回、所属会員が全員集まる総会を開催し、役員人事や規約改正、活動計画などを決定しています。

また、そのイベントとして、一般の方々へのPRを兼ねた「北九州風景街道まつり」を実施しています。毎年、ルートの特産地域で開催地を持ち回りし、その地域の団体が中心となってイベントを行ないます。毎回、それぞれの地域の特色を活かしたイベントが催され、会員同士の良い交流の場となっています。



まつり会場の様子



木屋瀬宿まちあるき
(地元ガイド付き)



長崎街道をテーマにした
講演会



宿場踊りの披露
(県指定無形民俗文化財)

3) かわらばんの発行

本協議会では、会員同士の情報交換・交流促進のために年に4回、「かわらばん」と名づけた会報誌を発行しています。

会員の活動やルートの見所の紹介、イベント開催情報などを掲載しています。



かわらばん

5. おわりに

平成19年10月に本協議会を設立し、同年11月に風景街道ルートとして登録されてから、丸3年が経過いたしました。試行錯誤の日々でしたが、役員をはじめとした会員の方々の熱意と努力により、少しずつですが、活動の形ができてきました。

まだまだ道半ばではありますが、風景街道の魅力をより多くの人に伝え、地域の活性化に繋がるような活動にこれからも取り組んで行きたいと思っております。

<執筆者>

「北九州おもてなしの“ゆっくりかいどう”」パートナーシップ 事務局
北九州市 建設局 道路部 道路計画課 石井 慎二

シリーズ: 社会資本整備総合交付金の活用事例

「日光“どこナビ”サイン」と「日光まちず」の整備

ルート名: 時空から天空への道 日光街道 [栃木県日光市]

1. 地域の課題、目標

日光市では、地域住民・ボランティア団体など15団体と連携して、「日本風景街道 時空から天空への道 日光街道」を推進するとともに、景観形成や美化活動を実施しています。

また、街道筋に立地する、世界遺産“日光の社寺”を訪れる観光客にわかりやすい道案内を提供し、街なかの活性化と魅力ある観光地づくりの推進を行っています。

住民の代表者と県・日光市との協働により、「日光まちず」の名称・デザイン・内容等の検討を実施し、社会資本整備総合交付金を活用して、「日光“どこナビ”サイン」の整備や「日光まちず」の配付を行いました。

2. 取組み内容

■「日光“どこナビ”サイン(図-1)」

- ・栃木県56箇所、日光市15箇所、計71箇所設置
- ・JR日光駅～神橋～日光田母沢御用邸記念公園(約3km)間の歩道上の道路照明や街路灯に約50m毎に地点票を設置

■「日光まちず(図-2)」

- ・日光市で版元を作成、無料配布分日本語版・英語版、計3万部を印刷
- ・「日光“どこナビ”サイン」と連動した道案内地図であり、サインには4ヶ国語標記と誰にでもわかる万国共通の数字を使用



図-1 「日光“どこナビ”サイン」



図-2 「日光まちず(上段:表面 下段:中面)」

3. 今後の展開

当該地域でアンケート調査を実施し、さらに効果的な道案内システムに更新していくこととしています。

この取り組みをモデルとし、市内の他の地域においても、地域住民と関係団体などとの連携が可能であれば、「どこナビ」サインを設置し、街なかの活性化、魅力ある観光地づくりに取り組んでいきたいと考えております。

風景街道地方協議会及び連絡窓口はこちらへ

風景街道の活動を積極的に支援するために、各風景街道地方協議会に連絡窓口を設置しております。

掲示板利用の登録や、日本風景街道に関するご相談等がございましたら、風景街道地方協議会の連絡窓口までご連絡下さい。

◆風景街道地方協議会の連絡窓口一覧

担当部署	担当者氏名	電話番号
シーニックバイウェイ北海道推進協議会 (北海道開発局 建設部 道路計画課 内)	種蔵 史典	011-709-2311(代表) (内線 5357)
東北風景街道協議会 (東北地方整備局 道路部 道路計画第二課 内)	宍戸 英雄	022-225-2171(代表) (内線 4256)
風景街道関東地方協議会 (関東地方整備局 道路部 道路計画第二課 内)	下坪 賢一	048-601-3151(代表) (内線 4252)
北陸 風景街道協議会 (北陸地方整備局 道路部 道路計画課 内)	遠藤 正樹	025-280-8880(代表) (内線 4213)
風景街道中部地方協議会 (中部地方整備局 道路部 計画調整課 内)	廣瀬 昌俊	052-953-8171(代表) (内線 4312)
近畿風景街道協議会 (近畿地方整備局 道路部 地域道路課 内)	竹井 賢二	06-6942-1141(代表) (内線 4612)
中国地方風景街道協議会 (中国地方整備局 道路部 地域道路課 内)	角 秀俊	082-221-9231(代表) (内線 4613)
四国風景街道協議会 (四国地方整備局 道路部 地域道路課 内)	助田 豊治	087-851-8061(代表) (内線 4612)
九州風景街道推進会議 (九州地方整備局 道路部 道路計画第二課 内)	中川 英一	092-471-6331(代表) (内線 4252)
沖縄地方風景街道協議会 (沖縄総合事務局 開発建設部 道路建設課 内)	高良 哲治	098-866-1914(代表) (内線 4353)

【ご意見お寄せください】

日本風景街道だよりは、地域の皆様へ様々な情報を提供することを目的に年4回程度発行する予定にしています。掲載内容などご意見・ご感想がございましたら、下記までお気軽にお寄せください。

日本風景街道だより

発行：国土交通省道路局環境安全課道路環境調査室
東京都千代田区霞が関2-1-3

TEL: 03-5253-8497 FAX: 03-5253-1622

担当: 本田、青柳

<http://www.mlit.go.jp/road/sisaku/fukeikaidou/index.html>